

スパリゾートハワイアンズ (SRH)

創業 40 年で 1 兆 6,612 億円の経済波及効果を創出

入場者はまもなく 5,000 万人達成へ

常磐興産株式会社
スパリゾートハワイアンズ

常磐興産株式会社（社長：斎藤一彦、本社：福島県いわき市、0246-43-3191）が経営するスパリゾートハワイアンズ (SRH) は、2006 年（平成 18 年）1 月 15 日に、1966 年（昭和 41 年）の「常磐ハワイアンセンター」創業からちょうど 40 年になります。SRH はこの間に、約 5,000 万人のお客様を迎え、地域観光・産業の発展に大きく寄与してきました。この度、SRH の 40 年に及ぶ事業活動により導き出された経済波及効果（※）が、みずほ総合研究所株式会社によりとりまとめられました。概要は以下の通りです。

（※）経済波及効果＝事業活動で行われる支出（サービス・財等の購入）が、別の関連産業の生産増加に波及している効果。

【経済波及効果概要】

SRH40 年の事業活動から生み出された経済波及効果は、およそ 1 兆 6,612 億円（2004 年基準の実質値）となりました。年平均ではおよそ 415 億円の生産誘発が継続的に行われた計算で、この年間規模は、いわき市の年間製造業付加価値額（4,438 億円：2003 年度）の約 1 割に相当します。

一方、他産業への雇用誘発も含む雇用創出効果は、40 年間に延べ 38 万 6,195 人で、年間平均では 9,654 人となりました。年間平均数は、いわき市労働力人口（18 万 13 人：2000 年）のおよそ 5% に上ります。（経済波及効果関連、別紙参照）

SRH の経営は、これらの数字に示されるように、地元をはじめとする各地域・産業界に多大な効果をもたらしたほか、昭和の大衆娯楽文化振興の一端を担うなど、日本における影響力についても大きいものであったと自負しています。こうした伝統を今後も継承し、新たな文化の発信基地として、また、経済面でもこれまで以上に大きな影響力を持つよう努力を続け、全てのステークホルダーへの貢献に努めていく所存です。

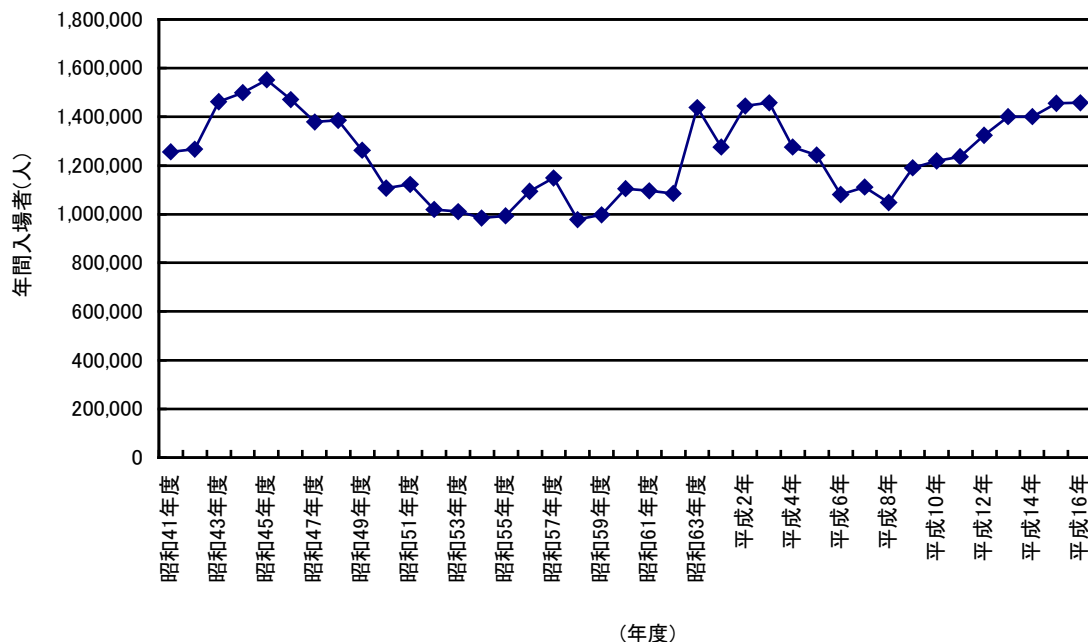
【累計 5,000 万人入場者について】

SRH は、本年 2 月に、5,000 万人目のお客様をお迎えする予定です。年間平均 125 万人のお客様に支えられ、入場者数は 97 年（平成 9 年）以降、増加傾向をたどっております。

近年の来場者数の増加は、世界最大の露天風呂としてギネスワールドレコードに認定されている大露天風呂「江戸情話 与市」（オープン：97 年）や、“美と健康”をテーマとした宿泊型施設「ウイルポート」（同：99 年）、屋外温泉公園「スパガーデン パレオ」（同：01 年）と、相次ぐ新施設の開業が、最近の温泉ブームや本物志向とも呼応した結果と分析しています。

SRH の前身は、常磐炭砒。常磐炭田発見から 150 年、常磐炭砒完全閉山から 30 年経過いたしました。一時は国の主軸産業だった石炭産業の衰退は、炭砒閉山とともに地元経済に深刻な影を落としました。そうしたなかで、次の産業振興、地域活性化につなげたのが当時、炭鉱採掘の問題になっていた温泉でした。当時の常磐炭砒（現・常磐興産）関係者は、この温泉を活用し、日本にないリゾート施設を建設するという大きな夢を持って、常磐ハワイアンセンターの開業につなげていきました。

入場者数の推移



【映画「フラガール」について】

昭和 40 年代の福島県いわき。常磐ハワイアンセンター創業物語をベースとした映画（シネカノン：企画・制作・配給）が、2006 年夏を目途に公開される予定です。11 日にクランクインされ、撮影は順調に進んでいます。今後も地域と一体化した「面」の観光の推進のため、たくさんのお話を提供してまいります。（別紙参照）

SRH は、今後の事業の方向性を、開業当初からの精神を大切に守りながらも、次の 10 年、20 年、そして 40 年先につながるものとして、お客様（国民）とともに「文化」、「健康」、「楽しさ」の創造を目指し、「スパリゾートハワイアンズの大衆文化」を、その子から孫へ、世代を超えて伝えていくことと考えています。

そのために、年間を通してさまざまな趣向で開催される各種催事の継続とあわせ、日本全国のお客様にも魅力ある楽しい話題を提供していきます。また、今後の強化充実を、地域と一体化した視野の中で進めていき、CS（顧客満足度）向上、更には経営基盤の強化に努めていく所存です。

□別添資料

SRH 経済波及効果効果 調査報告書（作成：みずほ総合研究所株式会社）

本件に関する報道関係者のお問合せ先
常磐興産株式会社レジャーリゾート事業部
営業部広報グループ：長瀬・国井
〒972-8555 福島県いわき市常磐藤原町蕨平 50
TEL.0246-43-4941（直通） FAX.0246-42-3528

スパリゾートハワイアンズ経済波及効果分析プロジェクト

調 査 報 告 書 (抜粋)

平成 18 年 1 月 13 日

みずほ総合研究所株式会社

目次

1. スパリゾートハワイアンズの位置づけ	1
(1)入場者数の推移	1
(2)売上高の推移	2
(3)売上高の全国の余暇施設における位置づけ	2
2. スパリゾートハワイアンズの社会経済効果の捉え方	3
(1)背景・目的	3
(2)社会経済効果の捉え方	3
(3)経済波及効果の捉え方	3
3. 経済波及効果の結果	5
(1)ハワイアンズによる生産誘発効果	5
(2)ハワイアンズによる雇用創出効果	5
(3)ハワイアンズによる所得形成効果	6

1. スパリゾートハワイアンズの位置づけ

(1)入場者数の推移

- ・スパリゾートハワイアンズは、1966年1月15日に、常磐炭砒時代地下湧水の温泉を利用し、「夢の島ハワイ」をイメージした日本初のリゾート施設、日本初のテーマパークとしてオープン。現在の施設の形態は、ウォーターパーク、スプリングパーク、江戸情話与市、スパガーデンパレオ、ウイルポート、ホテルハワイアンズなどのゾーンからなる複合アミューズメント施設となっており、2006年1月15日で満40年を迎える。
- ・入場者数は、創業以来の40年間の累計では5,000万人、年間平均では約125万人に達する。

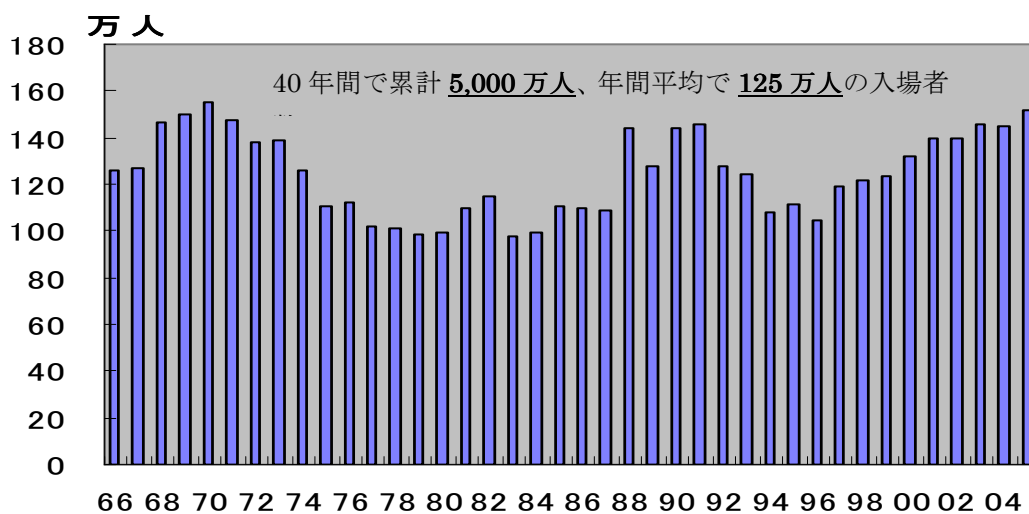
■年間平均入場者数125万人について

- ①年間平均入場者数（約125万人）を都道府県の人口に例えると、立地している福島県の人口（2005年現在、約209万人）の約6割に相当し、隣接する山形県の人口（2005年現在、約122万人）とほぼ同じ数の人口に相当する。
- ②年間平均入場者数（約125万人）を都市の人口に例えると、東京都区部、横浜市、大阪市、名古屋市、札幌市、神戸市、京都市、福岡市、川崎市（2005年現在、約133万人）に次いで10位となる。
- ③また、我が国の年間出生数（2004年、約112万人）よりも多い。

■2005年の入場者数約150万人（2005年度末見込）について

- ①2005年の入場者数（約150万人）を都道府県の人口に例えると、立地している福島県の人口（2005年現在、約209万人）の約7割に相当し、隣接する山形県の人口（2005年現在、約122万人）の約1.2倍に相当する。
- ②2005年の入場者数（約150万人）を都市の人口に例えた場合、第7位の京都市（2005年現在、約147万人）とほぼ同じ人口に相当する。

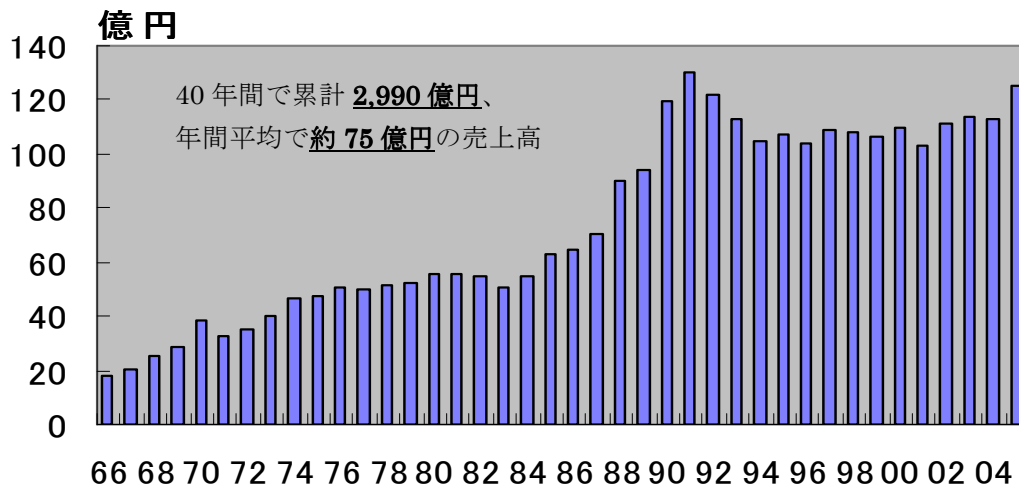
図表1 スパリゾートハワイアンズの入場者数推移



(2)売上高の推移

- ・スパリゾートハワイアンズの売上高は、創業以来の40年間の累計では約2,990億円、年間平均では約75億円に達する。
- ・なお、これは2004年現在の実質値に換算すると、累計では3,807億円、年間平均では約95億円になる。
- ・この累計3,807億円の売上高は、いわき市の小売業の年間商品販売額約3,784億円（平成14年）を上回る金額となる。

図表2 スパリゾートハワイアンズの売上高推移（名目値）



(3)売上高の全国の余暇施設における位置づけ

- ・全国で売上高100億円を超える余暇施設は4施設しかなく、スパリゾートハワイアンズの2004年の売上高約113億円は、全国の余暇施設を売上高の多い順にならべると、全国で第4位、福島県では第1位に位置している。（2004年の入場者数：総合ユニコム㈱「レジャーランド&レジャーパーク総覧2006」より、みずほ総合研究所㈱が加工。但し、一部売上高未詳の施設を除く。）
- ・売上高上位50施設のうち40年以上の業歴を有する施設（2006年1月現在）はスパリゾートハワイアンズを含めて10施設しかなく、スパリゾートハワイアンズは、その中で最も売上高が多い施設である。また、**売上高100億円を超える施設のうち、40年以上の業歴を有する我が国唯一の施設**でもある。
- ・従って、スパリゾートハワイアンズは、我が国の余暇施設の中で、40年以上の長期間にわたり大きな社会経済効果を安定的に与えてきた数少ない施設といえる。

2. スパリゾートハワイアンズの社会経済効果の捉え方

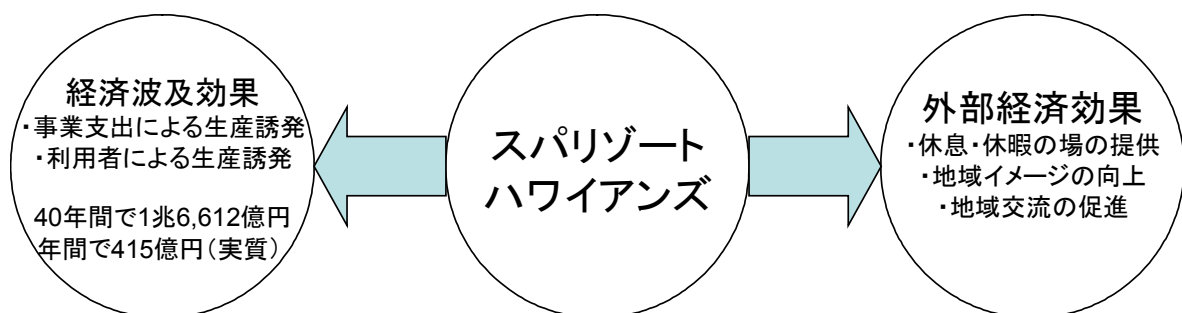
(1)背景・目的

- ・このようにスパリゾートハワイアンズは、創業以来 40 年の長期にわたり、年間平均で 125 万人の利用者が訪れ、実質値の年間平均で約 95 億円の売上高を計上しており、我が国で最も安定的に社会経済効果を与えて来た余暇施設といえることができる。
- ・そこで本調査は、創業以来 40 年にわたってスパリゾートハワイアンズがもたらした社会経済効果を計測することとした。

(2)社会経済効果の捉え方

- ・社会経済効果は、貨幣価値で定量的に捉えることができる経済波及効果と、定量的に捉えることは困難であるが定性的に捉えることができる外部経済効果の 2 つに大別される。
- ・経済波及効果とは、事業活動で行われる支出（サービス・財等の購入）が、別の関連産業の生産増加に波及している効果である。スパリゾートハワイアンズの場合、事業活動に伴う支出が別の関連産業の生産増加に波及している効果や、スパリゾートハワイアンズの利用者がスパリゾートハワイアンズを訪れる際の支出が別の関連産業の生産増加に波及している効果が、経済波及効果として捉えられる。
- ・一方の外部経済効果とは、定性的に捉えられる効果である。スパリゾートハワイアンズの場合、レクリエーションなど休息・休暇の場を提供している効果、地域イメージを向上させている効果、地域交流（人・情報）を促進している効果などが、外部経済効果として捉えられる。
- ・本調査では、経済波及効果のみを対象とし、外部経済効果は対象外として計測した。その結果、経済波及効果については **40 年間で 1 兆 6,612 億円（実質）の生産誘発効果**を確認することができた。
- ・なお、本評価には外部経済効果は含まれていないことから、実際には更に大きい社会経済効果が発揮されたと言ったことが可能である。

図表 3 スパリゾートハワイアンズによる社会経済効果



(3)経済波及効果の捉え方

①関連産業の誘発効果

- ・スパリゾートハワイアンズでは、事業を営むために経常的支出や設備投資など様々な支出を行っている。これらの支出は他の産業からのサービス・財等の購入であるため、別

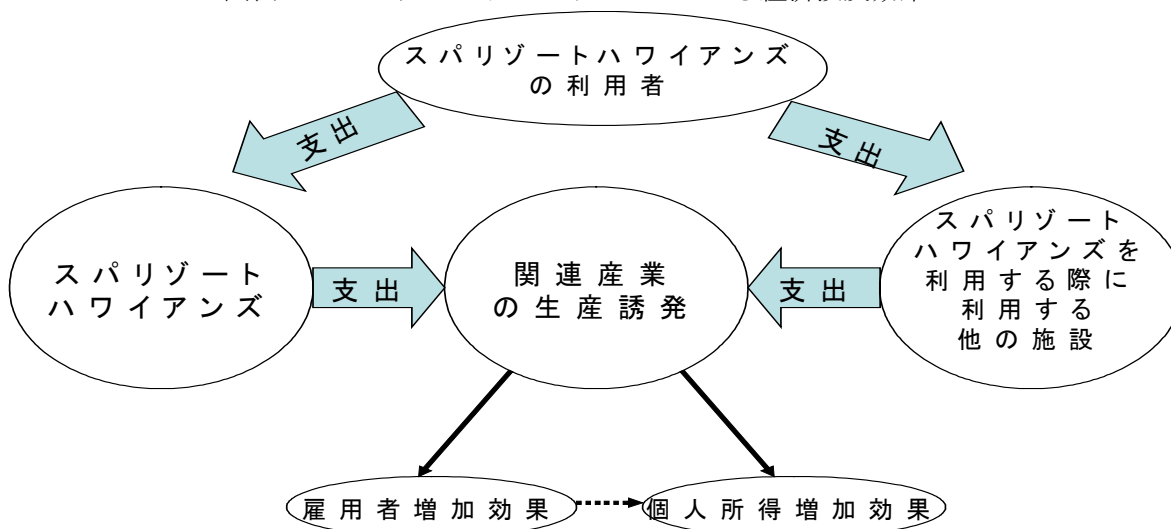
の関連産業の生産増加に波及しているといえることができる。この効果は、過去40年にわたるスパリゾートハワイアンズの支出額を調査することで、事業支出による関連産業誘発効果として捉えることができる。

- ・また、スパリゾートハワイアンズの利用者は、スパリゾートハワイアンズに利用する際に様々な支出を行っている。これらの支出もスパリゾートハワイアンズを訪れることによる効果であり、他の産業からのサービス・財等の購入であるため、別の関連産業の生産増加に波及しているといえることができる。
- ・事業支出による関連産業誘発効果、及び利用者のハワイアンズ以外の支出による関連産業誘発効果は、福島県の産業連関表を調査することにより計測した。

②雇用者及び雇用者所得の増加効果

- ・また、関連産業の誘発効果は、その関連産業における新たな雇用創出に繋がっており、さらには雇用者所得の増加に繋がっている。今回の調査では、関連産業が誘発されることによる雇用者及び雇用者所得の増加効果も計測した。
- ・雇用者及び雇用者所得の増加効果は、福島県の産業別生産額、福島県の産業別雇用者数などを調査することにより計測した。

図表 4 スパリゾートハワイアンズによる経済波及効果



3. 経済波及効果の結果

(1) ハワイアンズによる生産誘発効果

- ・ハワイアンズによる直接支出は、関連産業の生産増大につながり、またさらに産業間の取引を通じて、様々な産業へと波及する。
- ・この波及した生産額を積算したものが生産誘発額であり、福島県の産業連関表を調査することにより計測できる。
- ・ハワイアンズの事業は、産業連関表 34 部門では、「対個人サービス」に該当する。対個人サービスが各産業にもたらす生産誘発率は 1.30204 である。ちなみに、この数値は、「農業」の 1.265911、「建設」の 1.267695、「商業」の 1.237371 などと比較しても高く、分類不明を除いた 33 部門中の 9 番目に高い数値であり、かなり高い生産誘発率を有している。
- ・ハワイアンズによる生産誘発効果を 40 年間で積算すると、1 兆 892 億円（名目値）に達する。
- ・これを 2004 年基準の実質値に換算すると、総額では 1 兆 6,612 億円、年平均では 415 億円もの生産を誘発していることになる。

■年間 415 億円の生産誘発額について

- ①東北楽天ゴールデンイーグルスによる東北地域への経済波及効果は年間 208 億円と試算（2005 年 10 月、経済産業省東北経済産業局）されており、そのほぼ 2 倍に相当する。
- ②さいたま新都心に高さ 600m の世界一のタワーが建設された場合のタワーの経済波及効果は年 300 億円と試算（2004 年 8 月、財団法人さいたまりそな産業協力財団）されており、そのほぼ 1.38 倍に相当する。
- ③いわき市の歳出額約 2,800 億円（2003 年、いわき市）の約 15% に相当することから、ハワイアンズによる生産誘発効果だけでいわき市の公共支出の約 15% に相当することになる。
- ④いわき市の年間製造業付加価値額 4,438 億円（2003 年、いわき市、従業員 4 人以上の事業所）の約 1 割に相当する。

(2) ハワイアンズによる雇用創出効果

- ・このように生産が誘発されることで、他産業での雇用が増加する。このことを雇用創出効果という。
- ・ハワイアンズによる雇用創出効果は、40 年間で延べ 386,195 人、年間平均で 9,654 人と試算された。

■年間 9,654 人の雇用創出効果について

- ①いわき市の労働力人口 180,013 人（2000 年、いわき市）の約 5% に相当する規模であり、ハワイアンズによる毎年の雇用創出効果は、いわき市全体の労働力人口の 5% 分に相当することになる。

■ 延べ 386,195 人の雇用創出効果について

①福島県の労働力人口 1,108,459 人 (2000 年、福島県) の約 35% に相当する規模であり、
ハワイアンズの 40 年間の雇用創出効果は、現在の福島県全体の労働力人口の約 35% に
相当することになる。

(3) ハワイアンズによる所得形成効果

・ハワイアンズによる 所得形成効果は、40 年間で延べ 1 兆 803 億円、年間平均で 270 億円
となっている。

以上

～ 本資料に関するお問い合わせ先 ～

みずほ総合研究所 株式会社

事業本部 研究開発部

主任研究員 石川 裕康

東京都千代田区内幸町 1-2-1 日土地内幸町ビル

TEL : 03-3591-8742

FAX : 03-3591-8777

E-mail : hiroyasu.ishikawa@mizuho-ri.co.jp